

各位

遠鉄グループが大規模太陽光発電事業に参入 ～遠鉄ストア屋根を利用し、出力 1.1MW(メガソーラー級)の発電を予定～

遠鉄グループの遠鉄建設株式会社（本社：浜松市中区下池川町、社長：玉木利直）は、遠鉄ストア 15 店舗の屋根を活用して、平成 25 年 3 月を目処に太陽光発電所を建設し、再生可能エネルギー発電事業に参入いたします。

東日本大震災以降、電力不足は社会的課題であり、遠鉄百貨店や遠鉄ストアをはじめ、遠鉄グループ各施設において、積極的な消灯や LED 照明の採用など、節電へ取り組んでまいりました。また、遠鉄建設においては、平成 23 年 1 月より、本社社屋屋上に 5kW の太陽光発電設備を設置し、県西部地域での日照状況と発電量などの実証実験を行う一方、民間及び公共施設にて 10KW～20KW 規模の太陽光発電設備を施工するなど、太陽光発電所建設のノウハウを蓄積してまいりました。

この度、「持続可能なエネルギーの供給」という観点から、当社グループの施設のうち、太陽光発電に好適な場所として遠鉄ストア屋上を遠鉄建設が賃借し、発電所を建設及び運営するものです。

なお、発電した電力は、『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に従い、中部電力株式会社への売電を予定しております。

今後も当社グループは、地域社会への貢献、地球環境問題の解決に積極的に取り組んでまいります。

【計画概要】

事業予定地	: 遠鉄ストア全 30 店舗（建設中 1 店舗を含む）のうち、15 店店舗屋根
設置面積	: 約 12,000 m ² （15 店舗合計）
発電能力	: 出力合計 約 1.1MW（1 店舗あたり約 45kW～100kW）
発電量	: 約 140 万 kWh/年
投資額	: 約 3 億 8 千万円
年間収入	: 約 5 千万円
事業開始	: 平成 25 年 3 月（予定）